

会員報告

リハ工学カンファレンス in 沖縄

I・Y

昨年は自立生活を始めて1年目であつという間に過ぎていきました。皆さまはどんな1年を過ごされたでしょうか？今年には昨年以上に初めての経験、交流を広げていこうと思っています。

2015年11月13日～15日でリハ工学カンファレンス in 沖縄に参加してきたことを報告させていただきます。リハ工学カンファレンスでは、障害のある方のリハビリテーションを支援する機器や技術について、リハビリテーションに関係するさまざまな分野の参加者が互いに理解できる言葉で納得できるまで討論することを目的として、私が知っている関係者も数名発表されました。他に障がい当事者やさまざまな分野の専門家や学生が発表されました。その感想とまた私が飛行機に乗ることが初めての為、そのことも報告したいと思います。まず飛行機からなのですが最初に予約を取りました。その時に車いすであること、バッテリーの種類を伝えました。車いすということで1時間前に行かないといけません。そこで飛行機に乗るため手動の小さい車いすに乗るのですが、私は身体が大きいためどちらかのアームサポートがキツキツでした。(写真1)もちろんベルトできつく縛ってもらいました。



写真1

また人の手で「よいしょ」で移してもらったためもうちょっと痩せないとなあつくづく思いました。手動の車いすを押してもらい飛行機の中まで行き、座る座席に「よいしょ」してもらいます。手動の車いすの乗るときも飛行機で座っているときもロホクッションをお尻の下に置いてもらいました。飛行機の中ではベルトで座席と身体をしっかり固定してもらいました。初めての飛行機でしたが乗ってみるとなんてことはなかったです。このときはたくさんの車いすユーザーがいたため、説明をそんなにしなくてよかったのですがもし1人だったらテンパっていたと思います。また飛行機会社の人がこの日は1年で一番修学旅行生が多いと言われていました。

沖縄に着き、ゆいレールでおもろまち駅に向かいます。沖縄には電車が走っておらず、このゆいレールといわれる跨座敷(ござしき)のモノレールが走っています。驚いたことはスロープが自動で動きそのまま乗れたことです。(写真2)今まで電車やバスに乗るときに駅の係員やバスの運転手がスロープをもってきて乗っていました。しかしゆいレールは人の手がなくても一人で乗れました。



写真2

おもろまち駅から送迎車で会場の沖縄県総合福祉センターに向かいました。その日はM.Hさん

の演題を聞きました。スキー体験を話されていてチャレンジすることの大切さ、準備の大切さを知りました。夕食は首里天桜という沖縄料理店に行き、沖縄料理を満喫しました。



2日目はM.Rさんの演題を聞きました。演題の内容は1日目に発表されたM.Hさんのスキー体験の介助をされた話で、重度の障がい者をサポートすることはとても大変で体温調整できないM.Hさんを夜遠しサポートされていたという話しは一番記憶に残っています。

昼食を食べる午後からの予定を考えているとき、まさかの出会いがありました。私は趣味でハーモニカを演奏するのですがネットで動画を見ていたら同じ障がい者でハーモニカを演奏される方を見つけ沖縄で住まれていると知り、今回まさかの出会うことが出来ました。同じ趣味があるということで意気投合しいつか一緒に演奏しようと話し連絡先を交換しました。

その後、首里城観光をしようと決まり行きました。しかしうまく乗れるバスがなく1時間以上も走ることになりやっとの思いで着きました。世界遺産に登録されていただけあってとても雄大で感動しました。しかも中が整備されていてスロープ、エレベーター、階段昇降機がありバリアフリーになっていたことは驚きでした。

首里城を堪能して帰っていた時最悪の出来事が起こります。車いすの充電が無くなってしまいました。昨日の夜、ランプが全部点いていたので大丈夫と思い充電してなかったためです。親睦会会場までの距離は1.2キロメートルで上り坂や下り坂でほんとに押し上げていただいた2人には申し訳なかったです。ごめんなさい。皆さまも外泊した

ときは絶対に充電を忘れないように気を付けてください。帰ってからは親睦会の間充電していました。それでも久しぶりに会う方、初めて会う方たくさん出会い話すことが出来たことは貴重な良い思い出でした。



3日目はT.Hさんの演題を聞きました。京都のお寺巡りの話しをされていてバリアが多いと思われる寺に行くことは難しいと思いますが行くことができた時の感動はとても大きいと話されていて、感動を得るためには下調べや電話して確認することの大切さを学びました。

帰りの飛行機は 行きよりスムーズに乗れ、岐路に着きました。

今回のリハ工学カンファレンスに参加して交流が広がったこと、飛行機に乗るという初めての経験が出来たこと、いろんな方の話しが聞けて勉強になりとてもよかったです。来年も参加していろんな経験がしてみたいと思います。リハ工学カンファレンス実行委員会の方々ありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

